



THE MAUREEN AND MIKE MANSFIELD FOUNDATION

Promoting Understanding and Cooperation in U.S.-Asia Relations since 1983

ニューズリリース  
2015年2月2日

## 「マンスフィールドーPhRMA 研究者プログラム」2015 参加者募集

(ワシントン D.C.)モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団は、第3回「マンスフィールドーPhRMA 研究者プログラム」への参加者を募集します。本プログラムは、医薬に携わる日本の若手研究者8名を毎年米国に短期間派遣し、米国におけるトランスレーショナルリサーチ、保健医療政策、医薬品研究、規制慣行について学ぶ機会を提供します。今年のプログラムは、9月中旬の2週間、ワシントン D.C.、フィラデルフィア、ボストンでの会合や施設訪問を予定しています。本プログラムは 2013 年初頭に発足し、米国研究製薬工業協会(PhRMA)の支援を受けて実施しています。

今後マンスフィールド財団では、日本の国公立機関、国公立大学等の医療・医薬品関係の研究機関、付属機関、教育機関等に在籍する日本人の若手研究者 8 名を、プログラム参加者として選抜します(民間企業の研究機関に所属されている方は除く)。応募者には、修士号(博士号またはそれと同等の経験を有すればなお良い)と、専門分野における数年間の職務経験を有することが求められます。参加者は帰国後、プログラムの成果を幅広く共有し、日本における研究開発環境の改善に寄与することが期待されます。応募書類ならびに本プログラムに関する詳しい情報は当財団のウェブサイト：<http://mansfieldfdn.org/program/exchanges/phrma/>をご参照下さい。応募締め切りは 2015 年 4 月 3 日(金)です。

モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団のフランク・ジャヌージ理事長兼最高経営責任者は、次のように述べています：

「この“マンスフィールドーPhRMA 研究者プログラム”は、米国政府の医薬品研究プログラムの責任者、研究結果を応用へと導くトランスレーショナルリサーチの専門家、大規模な医薬品研究プログラムに携わるシニアレベルの専門家と面談し、情報やベストプラクティスを互いに共有するという非常にユニークな機会を提供します。当プログラムに参加した研究者は、プログラムを通じて構築したネットワークや知見は非常に有益かつ有効であると語っています。このプログラムは、日米両国のイノベーションを促進するための研究や規制、医療政策創出の一助になると確信しています。」

モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団は、米国歳入法501(c)3条によって認可された民間の非営利団体です。マンスフィールド財団は、モンタナ州選出の上院議員、多数党院内総務、駐日米国大使として、その生涯を通じて、米国とアジア各国の相互理解および協力関係を深めることに力を注いだマイク・マンスフィールド大使(1903～2001年)とモーリーン夫人の意志を受け継ぎ、1983年に設立されました。夫妻が米国とアジア各国との関係について抱いた価値観、理想、ビジョンは、財団の交流、政策対話、研究および教育プログラムに受け継がれ、米国およびアジアのリーダー間のネットワークを生み出し、公共政策に影響を与える根本的な問題を探求し、米国のアジアの国々や人々に対する意識向上につながっています。財団の事務所はワシントンDC、東京、モンタナ州ミズーラにあります。